

調査番号		A-h-08-02		
名称	間道に霧取菊文様錦		貴重度～5	☆☆☆☆
調査年月日	2006/2/20	調査者	銘記	
製作地	日本	製作年	江戸時代 18C前期	
織名称		法量縦	29cm	法量横 35cm
織耳	0.6			
形状	裂地			
用途	不明			
紋様	間道に霧取りと菊文様		素材	
地色			染料・顔料	
織技法名				
染技法名				
地組織	経3枚綾 (S)	耳部組織	経3枚綾	耳部組織数 24
地経系素材	絹	経系 色	紫、黄、浅葱、黄土、萌葱	経系:染材
経系 撚		経系 上撚	S	経系 下撚
経系 密度	66/cm	緯系 素材	絹	緯系 色 黄
緯系 染材		緯系 撚		緯系 密度 30/cm
緯系 上撚	引揃	緯系 下撚		
織幅	不明	織幅 片耳		
地紋	経縞 (地経系の色替による縞立)		地紋越仕様	
地紋組織				
地紋文丈		地紋文釜		地紋カマ数
地紋カマ種類		地紋文把吊		
上文	絵緯別搦み綾トジ	上文仕様		上文組織 緯3枚綾
トジ組織		*裏トジ	経3枚綾トジ	経使用
トジ		地搦トジ		地搦
地総		地経使用トジ		別搦トジ ○
別搦	1	別地		別経使用トジ 3
別搦経 素材	絹	別搦経色	淡紅	別搦経上撚 甘S
別搦経撚・下撚		上文文丈	不明	上文文カマ 8.6cm
上文カマ数	不明	上文カマ種類		上文文把吊 4本
絵系	2挺	胴	2挺	縫取
素材1	絹	色1	白、浅葱、萌葱	染材1
撚1		上撚1	引揃	下撚1
密度1	30本 全越	素材2	絹	色2 紫、黄、萌葱
染材		撚2		上撚2
下撚2		密度2		素材3
色3		染材3		撚3
上撚3		下撚3		密度3
素材4		色4		染材4
撚4		上撚4		下撚4
密度4		素材5		色5
染材5		撚5		上撚5
下撚5		密度5		箔系
種類1	平金箔系	箔系撚1		箔幅1 0.25mm
漆色1	無色	芯系材1		箔系色1
箔系上撚1		箔系下撚1		箔系密度1 全越
種類2		箔系撚2		箔幅2
漆色2		芯系材2		箔系色2
箔系上撚2		箔系下撚2		箔系密度2
種類3		箔系撚3		箔幅3
漆色3		芯系材3		箔系色3
箔系上撚3		箔系下撚3		箔系密度3
備考	色立てに仕立てた朱子地の間道の上に、霧取りをして、その中に桧垣と菊文様を表す。縞地に所々絵緯糸で横筋を織り出す。舶載の名物間道裂の文様に霧に菊文様を織り出すのは、珍しいというよりは異質である。江戸後期のがん物(おもちゃ)的でこわくな趣向によるものだろう。			
解説				